

様式

〇〇年 〇月 〇日

国土交通大臣 殿

押印は不要です。

事業者名、代表者氏名(役職含む)  
を記載してください。

住 所

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

氏名又は名称

〇〇市長 〇〇 〇〇

令和6年度予算 地域における受入環境整備促進事業補助金  
(インバウンド安全・安心対策推進事業(災害時の観光施設等における多言語対応機能の強化))  
事業計画書

令和6年度予算 地域における受入環境整備促進事業補助金(インバウンド安全・安心対策推進事業(災害時の観光施設等における多言語対応機能の強化))について、別紙のとおり関係書類を添えて応募します。

事業者名	〇〇市
補助対象施設名	〇〇園

別紙1 補助対象施設等の概要

補助対象事業者名 ○○市

ブルダウんで該当するものを選択してください。

補助対象施設等の情報			
補助対象施設等の名称	○○園	施設の種別	庭園又は公園
所在地(住所)	○○県○○市○○町○○番地		
設置主体	○○市	運営主体	○○市
開設日	昭和○年○月○日	職員数	○○人
補助対象施設等概要 訪日外国人が魅力を感じるポイントを記載してください	○○園は、昭和XX年に○○市中心部に建設された庭園であり、広大な日本庭園は市民のみならず、訪日外国人観光客からも近年人気となっている。		
補助対象施設等における旅行者の年間総入込数	国内旅行者数	訪日外国人旅行者数	総計
	約 10,000 人/年	約 3,000 人/年	約 13,000 人/年
入込数の算出方法	「○○市観光調査」より、「○○園」の訪問数。		
立地要件 (優先採択の対象となる計画等の策定有無) ※該当の場合、計画をご提出ください	<input type="radio"/>	「非常時における外国人旅行者の安全・安心の確保に向けた指針」に基づき観光危機管理計画を策定した地域の事業	
	<input type="radio"/>	「地域防災計画」等において訪日外国人旅行者の避難計画等を定めた地域の事業	
	<input type="radio"/>	日本政府観光局により、上位の категория に認定されている又は認定の見込みがある観光案内所を補助対象とする事業	
その他の要件 (必ずチェックください。該当しない場合は補助対象外となります。)	<input type="radio"/>	i) 災害発生時の避難誘導について、関係地方公共団体との調整が整っている。(※1)	
	<input type="radio"/>	ii) 災害等の発生が補助対象施設等の業務時間内である場合には、必要な安全の確認等を行った上で、可能な限り業務を継続する。	
	<input type="radio"/>	iii) 災害の発生が補助対象施設等の業務時間外である場合には、公共交通機関の運行状況や当該施設等が所在する地域における観光の状況に照らして、訪日外国人旅行者による相談が見込まれる場合には、必要な安全の確認等を行った上で、可能な限り速やかに業務を開始する。	
	<input type="radio"/>	iv) ii) 又は iii) 後は、少なくとも通常の業務時間内は業務を行うこととし、その後も訪日外国人旅行者による問い合わせが予見される場合は、可能な限り業務継続に努める。	
	<input type="radio"/>	v) 災害時において、訪日外国人旅行者の求めに応じて、災害情報、公共交通機関の運行状況、宿泊や避難に関する情報等を案内する。	
	<input type="radio"/>	vi) 災害の発生時において、多言語案内・翻訳用タブレット端末又は多言語案内・翻訳システム機器等の活用によることも含め、英語及びその他の外国語による対応も可能であること。	
他の補助制度等の活用の有無 (活用している・予定がある場合は具体的に記入下さい。)*2	国	無	
	都道府県	無	
	その他	無	

※1 災害等が発生した場合に、補助対象施設等利用者の避難・誘導対応について、補助対象施設等が所在する市区町村と補助対象施設等との間で調整がなされていれば「○」を記入してください。

※2 他の補助金等と補助対象が重ならないよう、施設の位置づけを調整する等の対応が必要となる場合があります。「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」等をご参考の上、他の補助制度等の利用状況を記入下さい。(詳細は応募要領の8~9ページ「4. 応募手続きの概要」の「(5) 注意事項」をご覧ください。)

事業実施主体(補助対象事業者)			
事業実施主体(団体)名	○○市		
法人番号 (個人事業主の方は記載不要です。)	00000000000000		
区分	地方公共団体		
住所	○○県○○市○○町○○番地		
担当者名	産業振興部 観光振興室 主任 観光 太郎		
連絡先(電話番号・FAX番号)	電話	(△△△)-△△△-△△△	FAX (△△△)-△△△-△△△
連絡先(メールアドレス)	△△@△△△.△△△.△△		

ブルダウんで該当するものを選択してください。

別紙1 補助対象施設等の概要

補助対象事業者名 (株)〇〇〇〇

ブルダウんで該当するものを選択してください。

補助対象施設等の情報			
補助対象施設等の名称	〇〇物産館	施設の種別	その他の施設
所在地(住所)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		
設置主体	(株) 〇〇〇〇	運営主体	(株) 〇〇〇〇
開設日	平成〇年〇月〇日	職員数	〇〇人
補助対象施設等概要 訪日外国人が魅力を感じるポイントを記載してください	〇〇物産館は、平成〇〇年に〇〇市観光施設が集まる△△地区に建設された物産館であり、当地の名産品の販売のほか、工芸品の製作体験等を行っており国内旅行者のみならず、訪日外国人観光客からも近年人気となっている。		
補助対象施設等における旅行者の年間総入込数	国内旅行者数	訪日外国人旅行者数	総計
	約 10,000 人/年	約 3,000 人/年	約 13,000 人/年
入込数の算出方法	当物産館における利用者集計による。訪日外国人旅行者については利用者における外国人旅行者の一般的な割合により推計。		
立地要件 (優先採択の対象となる計画等の策定有無) ※該当の場合、計画をご提出ください	<input type="radio"/>	「非常時における外国人旅行者の安全・安心の確保に向けた指針」に基づき観光危機管理計画を策定した地域の事業	
	<input type="radio"/>	「地域防災計画」等において訪日外国人旅行者の避難計画等を定めた地域の事業	
	<input type="radio"/>	日本政府観光局により、上位の категория に認定されている又は認定の見込みがある観光案内所を補助対象とする事業	
その他の要件 (必ずチェックください。該当しない場合は補助対象外となります。)	<input type="radio"/>	i) 災害発生時の避難誘導について、関係地方公共団体との調整が整っている。(※1)	
	<input type="radio"/>	ii) 災害等の発生が補助対象施設等の業務時間内である場合には、必要な安全の確認等を行った上で、可能な限り業務を継続する。	
	<input type="radio"/>	iii) 災害の発生が補助対象施設等の業務時間外である場合には、公共交通機関の運行状況や当該施設等が所在する地域における観光の状況に照らして、訪日外国人旅行者による相談が見込まれる場合には、必要な安全の確認等を行った上で、可能な限り速やかに業務を開始する。	
	<input type="radio"/>	iv) ii) 又は iii) 後は、少なくとも通常の業務時間内は業務を行うこととし、その後も訪日外国人旅行者による問い合わせが予見される場合は、可能な限り業務継続に努める。	
	<input type="radio"/>	v) 災害時において、訪日外国人旅行者の求めに応じて、災害情報、公共交通機関の運行状況、宿泊や避難に関する情報等を案内する。	
	<input type="radio"/>	vi) 災害の発生時において、多言語案内・翻訳用タブレット端末又は多言語案内・翻訳システム機器の活用によることも含め、英語及びその他の外国語による対応も可能であること。	
他の補助制度等の活用の有無 (活用している・予定がある場合は具体的に記入下さい。)*2	国	無	
	都道府県	無	
	その他	無	

※1 災害等が発生した場合に、補助対象施設等利用者の避難・誘導対応について、補助対象施設等が所在する市区町村と補助対象施設等との間で調整がなされていれば「○」を記入してください。

※2 他の補助金等と補助対象が重ならないよう、施設の位置づけを調整する等の対応が必要となる場合があります。「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」等をご参考の上、他の補助制度等の利用状況を記入下さい。(詳細は応募要領の8~9ページ「4. 応募手続きの概要」の「(5) 注意事項」をご覧ください。)

事業実施主体(補助対象事業者)			
事業実施主体(団体)名	〇〇市		
法人番号 (個人事業主の方は記載不要です。)	00000000000000		
区分	民間事業者	ブルダウんで該当するものを選択してください。	
住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		
担当者名	企画振興グループ 観光 太郎		
連絡先(電話番号・FAX番号)	電話	(△△△)-△△△-△△△	FAX (△△△)-△△△-△△△
連絡先(メールアドレス)	△△@△△△. △△△. △△		

別紙2 事業計画

補助対象事業者名

補助対象施設等名 ○○園

(税抜き、単位：円)

補助対象事業の種別 (補助対象経費の区分)	補助対象事業の 名称	補助対象事業の 目的・内容	補助対象設備等	補助対象事業の 着手及び完了予定日	費用総額		補助対象経費	補助金額	備考	
					負担者	負担額				
1	デジタルサイネージ	デジタルサイネージの設置	災害時に訪日外国人旅行者に必要な情報を伝えるため。	・デジタルサイネージ購入(4台)	着手予定日 R6.8.1  完了予定日 R6.12.1	国 申請者	4,000,000 2,000,000 2,000,000	4,000,000	2,000,000	※見積書No. 1に該当
2	多言語案内・翻訳用タブレット端末	翻訳タブレット端末○○の設置	災害時の訪日外国人旅行者対応に使用するため。	・○○購入(3台)	着手予定日 R6.8.1  完了予定日 R6.12.1	国 申請者	300,000 150,000 150,000	300,000	150,000	※見積書No. 2に該当
3	案内標識	案内標識の設置	災害時に活用する機器を訪日外国人旅行者に示すため	・案内標識の設置(2箇所)	着手予定日 R6.8.1  完了予定日 R6.12.1	国 申請者	200,000 100,000 100,000	200,000	100,000	※見積書No. 3に該当
4	無料公衆無線LAN環境の整備	無料公衆無線LAN環境の整備	災害時の訪日外国人旅行者対応に関する業務機能向上のため	・無線LAN機器購入費	着手予定日 R6.8.1  完了予定日 R6.12.1	国 申請者	200,000 100,000 100,000	200,000	100,000	※見積書No. 4に該当
5	スタッフ研修	スタッフ研修への参加	職員の多言語対応能力の及び訪日外国人旅行者の接客能力の向上のため	・○○研修参加(3名)	着手予定日 R6.8.1  完了予定日 R6.12.1	国 申請者	100,000 50,000 50,000	100,000	50,000	※見積書No. 5に該当
計							4,800,000	4,800,000	2,400,000	

別紙3 デジタルサイネージ(整備概要)

デジタルサイネージの整備概要				
位置図		<p>補助対象施設全体の位置関係がわかる図を記載してください。【必須】</p> <p>※位置関係がわかる既存のマップ等があれば、その添付をもって記載に代えることが可能です。</p>		
コンテンツ作成				
		<p>コンテンツを作成する場合は「○」を入れてください。</p>		
表示する具体的内容		言語		
災害情報(地震に関する情報、大雨等天候に係る警報情報)		英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)		
交通情報(△△鉄道時刻表、□□バス時刻表)		英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)		
		<p>プルダウンで、広告掲載(予定を含む)の「有無」を選択してください。</p>		
広告掲載	内容	該当		
	デジタルサイネージへの 広告掲載の有無(予定含む)	有		
広告掲載 要記有 載の 場合 は	掲載内容について	地域の飲食店や小売店、宿泊施設に関する広告	<p>プルダウンで、該当するものに「○」、該当しないものに「×」を入れてください。3つ全て○であることが要件となります。</p>	
	広告収入の活用先	本デジタルサイネージの維持管理費として捻出		
	掲載の範囲等について (必ずチェックください。 「×」がある場合は補助対象外となります。)	広告収入を伴わない観光情報を主として発信しているか		○
		広告収入は維持管理費を上らない程度であるか		○
	広告内容は公序良俗に反しないものである	○		
<p>設置場所の分かる写真等 ※設置する箇所全ての写真を貼付してください。 ※欄が不足する場合は適宜追加してください。</p>				
設置箇所	入口付近			
【整備する箇所の写真】		【整備する箇所の写真】		

別紙4 多言語案内・翻訳用タブレット端末、多言語案内・翻訳システム機器(整備概要)

下記導入媒体を複数申請する場合は、それぞれ作成してください。

導入媒体	多言語案内用タブレット端末	○
	多言語翻訳システム機器	○

多言語案内・翻訳用タブレット端末		機器名	台数	多言語翻訳システム (導入予定)	対応言語
【現状】	対応言語が英語のみであるため、英語以外の言語に対応できない。	-	- 台	-	英語のみ
【事業実施後】	タブレット端末を導入し、VoiceTraをインストールすることで、英語以外の言語にも対応可能となる。	タブレット端末	2 台	VoiceTra	31言語間の翻訳、うち22言語は音声入力、16言語は音声出力が可能
多言語案内・翻訳システム機器		機器名	台数	多言語翻訳システム (翻訳エンジン)	対応言語
【現状】	対応言語が英語のみであるため、英語以外の言語に対応できない。	-	- 台	-	英語のみ
【事業実施後】	ウェアラブル端末●●●を導入し、案内所スタッフの市内巡回時においても英語以外の言語にも対応可能となる。	ウェアラブル端末 ●●●	1 台	VoiceTra	31言語間の翻訳、うち22言語は音声入力、16言語は音声出力が可能

別紙5 案内標識(整備概要)

複数の案内標識を設置する場合は、それぞれ作成してください。

案内標識の概要

位置図

補助対象施設全体の位置関係がわかる図を記載してください。

【必須】

※位置関係がわかる既存のマップ等があれば、その添付をもって記載に代えることが可能です。

整備の内容

番号	案内標識に記載する内容	表記する言語	設置箇所	設置数
①	避難所の場所を示す標識	英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)	出入口周辺	1

設置場所の分かる写真等

※設置する箇所全ての写真を貼付してください。

※欄が不足する場合は適宜追加してください。

【設置する箇所の写真①】

【設置する箇所の写真】

【設置する箇所の写真】

【設置する箇所の写真】

別紙6 掲示物・配布物(整備概要)

複数の掲示物・配布物を作成する場合は、それぞれ作成してください。

掲示物・配布物の概要				
番号	種別	掲示物・配布物に記載する内容	表記する言語	掲示箇所(掲示物のみ記載)
①	掲示物	避難所案内図	英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)	出入口周辺
②	配布物	避難所マップ	英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)	-

設置場所の分かる写真等

- ※設置する箇所全ての写真を貼付してください。
- ※欄が不足する場合は適宜追加してください。

<p>【掲示する箇所の写真①】</p>	<p>【掲示する箇所の写真②】</p>
<p>【掲示する箇所の写真】</p>	<p>【掲示する箇所の写真】</p>



別紙7 ホームページ(整備概要)

コンテンツを作成する場合、既存のホームページの場合は「○」を入れてください。

ホームページの整備概要				
新規作成			○	
既存のホームページの改修			○	
その他の要件 (必ずチェックください。該当しない場合は補助対象外となります。)	○	新規又は改修するホームページは、スマートフォン対応している		
掲載する具体的内容		言語		
災害情報(地震に関する情報、大雨等天候に係る警報情報)		英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)		
交通情報(△△鉄道時刻表、□□バス時刻表)		英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)		
ブルダウンドで、広告掲載(予定を含む)の「有無」を選択してください。				
広告掲載	内容		該当	
	情報発信媒体への広告掲載の有無(予定含む)		有	
広告掲載有 要記載 の場合は	掲載内容について	地域の飲食店や小売店、宿泊施設に関する広告		
	広告収入の活用先	本ホームページの維持管理費として捻出		
	掲載の範囲等について (必ずチェックください。「×」がある場合は補助対象外となります。)	広告収入を伴わない観光情報を主として発信しているか		○
		広告収入は維持管理費を上らない程度であるか		○
広告内容は公序良俗に反しないものである			○	
ブルダウンドで、該当するものに「○」、該当しないものに「×」を入れてください。				

別紙8 案内放送(整備概要)

案内放送の整備概要	
案内する具体的内容	言語
災害情報(地震に関する情報、大雨等天候に係る警報情報)	英語・韓国語・中国語(繁体字・簡体字)

別紙9 無料公衆無線LAN環境の整備(整備概要)

無料公衆無線LAN環境の整備の概要			
整備内容			
機器等区分	機器名	台数	備考
本体	無線LANコントローラ〇〇	1台	
端末	アクセスポイント〇〇	4台	
ソフトウェア	〇〇〇〇	1個	セキュリティ対策
設置箇所の理由		災害時に訪日外国人旅行者とのコミュニケーションにタブレットを使用するため、広範囲でWi-Fiを使用できるようにするため	
その他の要件 (必ずチェックください。該当しない場合は補助対象外となります。)		無料公衆無線LAN環境の整備を図る際には、下記の共通シンボルマークの掲出、総務省が求める認証方式に準じた認証方式を行う	
項目	該当	内容	
共通シンボルマーク	<input type="radio"/>	「Japan.Free Wi-Fi」の掲出	
認証方式	<input type="radio"/>	ア)SMS(ショートメッセージ)・電話番号を利用した認証方式	
		イ)SNSアカウントを利用した認証方式 及び ウ)利用していることの確認を含めたメール認証方式 の併用方式	
		上記以外(備考欄に詳細を記入)	
	備考		

別紙10 スタッフ研修(整備概要)

スタッフ研修の概要		
項目	内容	
研修名	多言語対応研修	
研修の種類	○ 多言語対応研修	
	視察研修	
	災害対応訓練研修	
	その他( 研修)	
目的	語学以外の多言語対応能力の習得により、職員の訪日外国人旅行者の受け入れ能力の向上を図るもの。	
参加人数	案内所スタッフ 3人	
研修計画 ※指標を達成するための計画を記入のこと	【日程】	7月1日～3日 各日程4hの研修
	【講師】	○○ ○○
	【研修内容】	訪日外国人旅行者を受け入れ能力の向上。 ・外国人の常識や習慣についての学習。 ・自動翻訳機器や指差し会話シート等の活用といったコミュニケーションに係る知識の習得。
	【期待される効果】	■現状の課題、研修後に期待される効果、研修後の達成目標とする指標※等を記載ください。  ※完了実績報告時に設定した指標に対する達成率及び参加者による研修レポート(研修をどのように今後の業務に活かすか)等を完了実績報告書とあわせ提出する必要があります。ただし、指標設定が困難な場合は、参加者による研修レポートのみの提出でも可とします。
研修にかかる費用の詳細等 (見積書等添付でも可)	■研修行程と照らし合わせて、必要な経費と明確に判断できるものを補助対象経費とします。	

研修行程ごとに内容を記載の上、各行程の目的をあわせて記載ください。

別紙11

補助対象事業者が地方自治体の場合、本様式は提出不要です。

令和〇年〇月〇日

国土交通大臣 殿

補助対象施設が所在する地方自治体の長の氏名を記載してください。(押印は不要です。)

〇〇市長 〇〇 〇〇

### 災害時の観光施設等における多言語対応機能の強化の必要性について

補助対象施設等における災害時の観光施設等における多言語対応機能の強化について、下記のとおりご報告いたします。

#### 1. 整備を行う補助対象施設等について

- ・施設名: 〇〇〇〇
- ・事業者名: 株式会社〇〇
- ・住所: 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

補助対象施設が設置されている地域が、訪日外国人旅行者の受入に関し一定の体制を整えている地域又は訪日外国人旅行者に誘致等、観光振興に意欲を有する地域であること(新規に開業する施設や、施設がある地域で新たに訪日外国人旅行者を誘致するような場合には来訪見込みであること)、施設と自治体の間で、災害発生時、施設利用者の避難・誘導対応について調整を行っていることを記載してください。

#### 2. 施設の状況、情報発信及び災害時等の対応の調整について

①記載の施設は〇〇市の観光の中心である〇〇地域位置し、訪日外国人を含む旅行者が現に多く来訪している施設です。

②記載の施設と当市では、災害等が発生した際に、施設利用者の避難・誘導対応について、調整を行っています。

前述のとおり、1. に記載の施設は、訪日外国人旅行者の受入環境整備の観点から整備が必要な補助対象施設等に該当します。

所属: 〇〇市観光部国際観光課  
担当: 〇〇  
連絡先: 000-00-0000